

**米沢市スポーツ推進計画＜後期改定計画＞（案）に係る
パブリック・コメントの結果**

1 募集対象計画等

米沢市スポーツ推進計画＜後期改定計画＞（案）

2 募集期間

令和2年5月21日(木)～令和2年6月9日(火)

3 意見の提出者数及び件数

提出者数8名／提出件数26件

【内訳】

- | | |
|-----------------|-----|
| （1）スポーツ振興に属すること | 14件 |
| （2）スポーツ施設に属すること | 7件 |
| （3）その他に属すること | 5件 |

4 提出方法

FAX	4名
持参	2名
電子申請（やまがたe申請）	2名

5 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

【スポーツ振興に属すること】

スポーツ振興に関する提案	
意見 1（要約）	
スポーツをしたり、マラソンなどのスポーツイベントに参加したりして、楽しい、よかったと思える機会を確保してはどうか。 例えば歩くと自動的に運動量が記録されるスマホアプリの開発（ポイント数によって賞品がもらえたり各施設で特典が受けられる等）や、スポーツイベントに関連したイベントの開催（ランナーによるトークショーや前夜祭等）等。	
意見 2（要約）	
スポーツ施設を利用したり、スポーツボランティアをするとなにか特典が受けられる制度を設けてはどうか。（スポンサー企業や地元団体等と連携した特典）	
意見に対する回答	
現在、米澤上杉城下町マラソンや道の駅スタンプラリーライドなどのスポーツイベントを開催しながらその中で、楽しく親しんでいただけるように、景品の抽選会やエイドでの振る舞い、コンサートなどの企画を取り入れながら行ってきました。さらに、米沢市スポーツ協会主催の市民スポーツ教室等を行っているほか、各種スポーツ活動に係わる「支える」機会の提供を推進する手法として、スポーツボランティアの募集・活動等も行っているところです。 また、ご意見のような特典等を受けられる制度としては、健康課で実施している「健康マイレージ」と連携しています。この制度は、健康に関する取組や運動でポイントが付き、このポイントを貯めて応募すると、県内の協力店で特典やサービスを受けられる「やまがた健康づくり応援カード」を交付するほか、さらに抽選による賞品の贈呈を行うものです。 さらに、「歩く」を入り口とした健康増進を目的とする「FUN+WALK 推進事業」において、現在ご意見のようなアプリを活用したスポーツイベントを検討していますので、引き続き取り組んでいきます。 スポーツ課の取組だけでなく、他課の事業や制度と相互に連携し、より市民に楽しくスポーツや運動に関わっていただけるような施策を今後も研究していきます。 なお、スポーツ施設を利用した場合の特典等に関しては、現段階では考えていませんが、上記のような機会を含めたスポーツイベント等で、これまでスポーツに親しんでいない方や、定期的にスポーツに取り組んでいる方にも、スポーツをしてみよう、イベントに参加してみよう、スポーツ活動に関わってみようと思っただくきっかけとして、ご意見のような手法について今後も検討していきたいと考えています。	
修正の有無	無

個別競技について	
意見 3（要約）	
若年層のスポーツ離れ、特に耐久系がひどいと思われる。例えば自転車の場合、イベント参加者は多いが、競技者は極端に少なくなっている。本市も、米工の競技部がなくなったことは考慮すべき事である。 県全体としても少なく、競技場の受け入れるところがない状況である。日本で唯一競技場のある県なのに、現在も新庄の競技場は使えない状況が続いている。	
意見に対する回答	
全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果から、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化の傾向が見られており、若年層のスポーツ離れについては、注視していくべきことと認識していますので、若年層のスポーツ離れの要因について、アンケートを実施するなど今後分析・研究していきたいと考えています。 競技としてスポーツに取り組んでいただくためにも、幼少期から取り組みたい競技に触れられる機会を提供し、選択肢を増やせるような環境づくりに取り組んでいきます。 競技場が使用できない件については、他市の施設でありますので、ご意見として承ります。	
修正の有無	無

個別競技、施設について	
意見 4（要約）	
昨年自転車活用促進法が施行されたが、県との連携はできているのか。市だけではできないことなので、密に協議してほしい。 どこまでがスポーツなのか、レジャーなのかと考えたときに、スポーツ人口が減少してレジャー系スポーツが増えている。その部分について考慮が必要に思う。	
意見に対する回答	
自転車活用促進法に関する県との連携については、市では土木課が窓口となって進めております。様々な分野が関連し多岐にわたるため、市内部で連携を図りながら、県と更なる情報交換をしていきたいと考えています。 スポーツとレジャーの区分については様々な捉え方があり、回答するのは困難であります。市としては、スポーツにおける多様性に鑑み、個人で程度に差はあっても、スポーツをする、体を動かす等の習慣のある人口を増やすため、市民が気軽にスポーツに親しむ環境の整備を推進したいと考えています。	
修正の有無	無

個別競技、市民総体について	
意見 5（要約）	
最近グラウンドゴルフをしている風景を多く見かける。 定期的な大会やイベントは城下町マラソンよりも費用対効果が大きいかもしれない。 ぜひ市民スポーツレクリエーション大会に盛り込んでいただきたい。	
意見に対する回答	
ご意見のとおりグラウンドゴルフを行っている団体が増えてきているように認識しています。 市民スポーツレクリエーション大会（仮称）の開催の検討においてご意見があったことについて情報共有していきます。	
修正の有無	無

市民総合体育大会について	
意見 6（要約）	
小学生のスポーツにおいて市民総体の重みはすごく大きく、継続していただきたい。 大人と子どもが一体となつての取組は他にはないすばらしいものだと思うし、競技力向上やスポーツを推進する事業に 1 番適していると思う。	
意見 7（要約）	
各地区、各種別のスポーツ協会はほとんどがボランティアで頑張つて支えている。 50 年続いた市民総合体育大会を廃止し、市民スポレク大会に切り替え開催・・・米沢市スポーツ推進・スポーツ文化の確立に逆行するのではないのでしょうか。	
意見に対する回答	
米沢市民総合体育大会（以下、「市民総体」という。）は、半世紀にわたる大会ですが近年は人口減少や少子高齢化、生活の多様化等により各地区の参加者の確保が難しくなっており、見直しを求める声が上がっています。 このことを受け、米沢市スポーツ協会と協議しながら、昨年、市民総体参加地区及び競技団体へのアンケートを実施し、競技団体及び地区体育協会の皆様への説明及び協議を進めています。 見直しにおいては、市民総体そのものをなくすのではなく、ご意見のような市民総体の良さを活かしながら社会情勢や生活様式に合った内容を検討し、気軽に参加しやすい環境をつくり、幅広い年代の方に幅広い種目等に参加いただくことで市民総体の上記の課題をクリアすることを目指していますので、スポーツ推進やスポーツ文化の確立に逆行するものとは考えていません。 今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から市民総体は中止となりました	

が、見直しにおいては各地区のご意見を伺い、ご協力をいただきながら、課題を共有し、継続して検討していきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

修正の有無	無
-------	---

地域スポーツについて

意見 8（要約）

今年度はコロナの影響で市民総体、地区運動会、様々な大会が中止となり、改めて事業を見直すいい機会になった。米沢市スポーツイベントからの地域活性化、更にその大会に伴う地区内の大会を推進していきたい。

意見に対する回答

ご意見の内容については、基本方針 1 の施策 1－4 及び 1－5 に基づき、各地区や各競技団体の皆様にお力添えをいただきながら推進していきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

修正の有無	無
-------	---

生涯スポーツについて

意見 9（要約）

スポーツの価値観は様々な要素に役立たれ、生涯スポーツを持つことになる。それにはスポーツを遊び、楽しみ感覚で行われないと持続できないと思う。早朝、夕方にウォーキングをしている方を見て、健康維持には、誰もが意識していると思う。アミューズメント的な、スポーツ環境もできたらいいと思う。

意見に対する回答

ご意見のとおり、生涯スポーツ活動を推進するにあたっては、自身が楽しく、また意識をもって取り組むことが継続して行う上で重要と考えています。

意見 1 及び 2 の回答でも記載しましたような、楽しく継続してスポーツ活動をしていけるようなきっかけづくりなどを研究していきます。

修正の有無	無
-------	---

学校・地域連携によるスポーツ参加について	
意見 10（要約）	
生涯スポーツ活動においては学校、地域団体との連携が必要不可欠であり、それぞれの課題を解決していかなければならない。地域ではやはり仕事の多様化、少子化、核家族化が問題であり、いかにスポーツに関心をもってもらえるか、スポーツに参加していただけるかが課題である。	
意見に対する回答	
ご意見のとおり、生涯スポーツの推進にあたっては基本目標 1 の 1－4 に記載のように学校、地域団体との連携が重要であると認識しています。それぞれの課題を整理したうえで、学校や地域団体と連携して生涯スポーツ活動の推進を図っていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。	
修正の有無	無

他の施策との連携によるスポーツの効果について	
意見 11（要約）	
現在の米沢市のスポーツイベントは観光行政と結びついていない。 また、スポーツイベントに限らず、他県、他地域から人を呼び込むには、市全体として盛り上げる施策を行うべきだと考える。	
意見に対する回答	
ご意見のとおり、本市イベントへ他地域の人を呼び込むためには、スポーツ分野のみならず観光産業等との連携が必要と考えています。 現在も米澤上杉城下町マラソン等各種スポーツイベントの折に観光団体と連携している部分がありますが、更にその連携を強め、広報活動や受入態勢の整備に努めています。 基本方針 1 の 1－5 の内容に下記のとおり追記し、意識の醸成を進めます。	
修正の有無	有

頁	修正前	修正後
14	1－5 スポーツを通じた交流人口の拡大 ・市外からのスポーツへの参加者、ボランティア、応援者等を呼び込むスポーツイベントを開催する。	1－5 スポーツを通じた交流人口の拡大 ・ <u>関係部署や団体と連携し、</u> 市外からのスポーツへの参加者、ボランティア、応援者等を呼び込むスポーツイベントを開催する。

事業の費用対効果について

意見 12（要約）

運動・スポーツ実施状況に関するアンケート調査において、米澤上杉城下町マラソンの認知度が35.8%である。

参加者は680名で事業費は16,800千円（H30）だとすると参加者一人当たり24,705円である。このように多額の費用をかけてマラソン大会をする必要があるのか。公認ロードのある長井市に任せればいいのか。

意見に対する回答

【資料の訂正とお詫び】

計画（案）P3 及び P8 に記載のある「②主な事業の決算額」のマラソン大会の平成30年度の決算額について、下記の誤りがありました。

訂正してお詫び申し上げます。

項目	訂正前	訂正後
P3 マラソン大会 H30 年度	16,800	19,800
P8 マラソン大会 H30 年度	16,000	19,800

【意見に対する回答】

これまで米澤上杉城下町マラソンは、自身の記録を更新するなど競技性を求める参加者の方に参加いただくことに加え、市外からの参加者を募ることで、スポーツツーリズム推進を目指すことを主な目的に事業を展開してきました。その中で、ご意見のような費用対効果の面については様々な御意見をいただいております。米澤上杉城下町マラソンの在り方の見直しを進めています。

その中では、スポーツツーリズムの推進の意味合いはこれまで通り含めたうえで、「健康長寿日本一のまちづくり」の施策のひとつとして市民に気軽に運動をしていただける場を提供し、自主的に定期的に運動に取り組んでいただく「市民マラソン」の意味合いの部分により強めていく方向で検討をしています。

そうした目的を市民に認識していただき、より気軽な運動の機会と捉えて参加していただけるような広報活動と、事業費の削減を講じながら、コースの在り方等大会内容の研究をしていきます。

上記のことを踏まえて、「生涯スポーツの推進」の観点からの必要性を確認及び周知するため基本方針1の1-2の内容に下記のとおり追記し意識の醸成を進めます。

修正の有無

有（参考資料の数値の訂正含む）

頁	修正前	修正後（事業の追加）
13	1－2スポーツを通じた健康増進 記載なし	1－2スポーツを通じた健康増進 《主な事業》 ・米澤上杉城下町マラソンの開催

スポーツ少年団について	
意見１３（要約）	
スポーツ少年団誘致など様々な施策があるが、人口減少に伴い年々スポ少や部活動する人口自体減っているため厳しいと思う。加入率の向上にあたり、小学校に配布している一覧表などは大変助かる。 競技力向上の事業において、ミズノ等と呼ぶのもいいが、そこに地元のスポ少の指導者等を招いて同時に勧誘するなどもいいと思う。 別の競技が合同で活動を行うなど、その分野で担える人を探し、チームとして受け入れてくれる団体を探すことも重要だと思う。	
意見に対する回答	
ご意見のとおり、人口減少に伴いスポーツ少年団活動や部活動を行っている人口も減少しているため、人数の増加は難しいものと考えられます。そのため、目標においては「加入率」を指標にし、加入率の向上を目指していきます。 そのためには、米沢市スポーツ少年団本部を通して、ご意見いただいたような取組の検討や少年団活動に対する支援、各種要望に協力するなど、これまで以上に連携を図り、目標達成に向け取り組んでいきたいと考えています。	
修正の有無	無

部活動について	
意見 14（要約）	
競技力向上に関して、冬休みの活動が1日しかないところがあるなど、中学校における部活動の体制がひどすぎる。雪国で活動場所がないのはわかるが、もう少し工夫してやる体制づくり、外部指導者の活用など積極的な対応が取れるよう、中学校の校風を変える必要があると考える。 福島県は冬場のオフシーズンに毎週土曜日に地区ごとの中学生を集めて強化練習会などを積極的に開いて競技力向上を行っている。	
意見に対する回答	
本市の中学校部活動については、「米沢市における部活動の在り方に関する方針」に沿って、学校ごとに「学校の部活動に係る活動方針」を策定して進めています。 中学校部活動は、学校教育の一環であり、生徒の多様な体験を充実させたり、健全な成長を促したり、自己肯定感を高めたりする等教育的意義が大きい活動であります。 その教育的意義のなかで、競技力の向上を図り、目標に向かって努力し、勝つ喜びを味わうこともその一つと考えています。 基本方針3の3-1に記載のような、部活動強化及び支援事業の充実とともに、競技力向上を目的とした大学や企業との連携を活かした各競技の交流やプログラムの導入・実践等で連携していく方法等を模索していきます。	
修正の有無	無

【スポーツ施設に属すること】

施設の冬期利用について	
意見 15（要約）	
冬場の陸上競技場、サッカー場等の使用について、使用可能にしていきたい。 駐車場の除雪は市で行い、中の除雪等はなるべく利用者で行うものとして開放して いきたい。それによる利用者・競技継続者の拡大、競技力向上は大きいと考える。	
意見に対する回答	
これまでも利用期間の拡大についてはご意見をいただき、積雪状況等を確認しながら陸上競技場、人工芝サッカーフィールドの利用期間の延長及び早期開場をしてきたところではあります。 本市の例年の降雪及び積雪状況に鑑みると、施設内の除雪を利用者にお願いするには限度があること、また供用を可能にすると施設管理の観点から指定管理者の体制やその分の人件費等の費用を含めた対応についての協議が必要となるなど、課題が残るのが現状です。 施設を多くの方々に利用していただけるよう施設の運営に当たっていきませんが、現状についてご理解いただきますようお願いいたします。	
修正の有無	無

施設の修繕・備品の更新等について	
意見 16（要約）	
体育館の卓球台が古くなってきた。競技で使用する場合表面劣化のため問題がある。 今から計画的に少しずつでも新しくしていく必要がある。	
意見 17（要約）	
H30 年度の主なスポーツ施設の整備、修繕費が 19,347 千円。米沢市には老朽化し修繕が必要な施設が多くある。	
意見 18（要約）	
現在の市営体育館では施設面の老朽化のため、大きい大会、競技によれば県大会すら実施することができない。子供たちの技能の向上を図ることができない一因にもなっているものと考えている。サブアリーナのある新体育館の建設（もちろん空調も完備）が必要に思う。	
意見 19（要約）	
八幡原体育館にも空調設備がほしい。エアコンがあれば、利用率が上がり、市民の体力向上にもつながる。	
意見 20（要約）	

八幡原テニスコートについて

- ・サーフェスがコンクリートで膝に負担がかかりすぎる。他の市や他県のコートはオムニ（人工芝）のコートに改善されているので、全面オムニコートにしてほしい。
- ・第2コートが破損したままで使用できないため、修理してほしい。
- ・面数が5～6面では大会の開催が困難なため、あと3～6面増設してほしい。

意見21（要約）

市営野球場は平成4年のべにばな国体の春に竣工し、29年目を迎えるが、当時は県内の市営野球場としては素晴らしく、その後鶴岡・新庄・酒田の基本球場となり、三市の野球場が新設された。市営野球場は特に最近では雨漏りがひどく、管理棟のあらゆるところに浸水し、事務室や放送室の機器は危ぶまれる状況となっている。球場内も経年による劣化が多く、選手に安全な環境を提供することができない状況である。修繕・整備の際の内容については様々考慮していただきたい部分があるが、総括として、雨漏りの改修（スタンド）、施設の安全・安心の提供としても現在天然芝では管理が非常に困難な状況であることから大規模な改修（全面人工芝化）を要望する。練習のできるバッティングゲージを準備すれば社会人や大学生の合宿の誘致やプロ野球の試合、社会人から少年団までの全国大会や東北大会等のメイン会場となり子供たちに高度な野球の技術を目で見て覚えることができるようになる（技術力の向上）。米沢工業野球部が悲願の甲子園出場を果たした時米沢は大いに盛り上がり、市民の気持ちが一瞬になった。修繕・整備等の対応をいただき子供たちに夢と希望を与えられるようよろしくお願いします。

意見に対する回答

ご意見のとおり、本市には老朽化したスポーツ施設が多くあり、修繕等のほか、備品の更新等のご要望を様々な種目団体等からいただいています。

市営体育館は供用開始から50年近くが経過し、老朽化が進んできています。各種大会の会場としての機能のほか、災害時における避難所としての機能も求められており、いずれは大規模な改修を行う必要があります。

八幡原緑地野球場及びテニスコートは、供用開始から40年以上が経過し老朽化等により様々な不具合が発生しているのが現状です。

市営野球場は、ご意見記載の状況を市としても認識しており、現在雨漏りについて現地調査等を進めています。

公共施設の改修等については、米沢市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の策定結果に基づきながら、今後のスポーツ施設の在り方を踏まえた整備も含めて進める予定ですが、市民の声やご意見を伺い、より快適に、多くの方に利用していただけるよう機能を検討し、計画的な整備を進めていきたいと考えています。

修正の有無

無

【その他に属すること】

アンケートについて	
意見 2 2（要約）	
運動・スポーツ実施状況に関するアンケート調査の回収数が少ない。 （前回（H25）1,053 名に対し、今回 385 名で、市民 68,000 名の 0.56%である）	
意見に対する回答	
前回、今回ともに市民全員にではなく、市内に居住する 20 歳以上の男女から無作為に選出した市民にアンケートを実施いたしました。 前回（H25）は 3,000 名にお送りし 1,053 名から、今回は 1,000 名にお送りし、385 名から回答をいただきました（前回回収率 35.1%、今回回収率 38.5%）。 他のアンケートと比較いたしましても、回収率は低くはないものと認識しておりますが、ご意見を踏まえ、今後更にアンケートの回収率が上がるよう、スポーツに対する意識が向上するような施策や、アンケートの手法等を検討していきます。	
修正の有無	無

アンケートについて	
意見 2 3（要約）	
運動・スポーツ実施状況に関するアンケート調査において、チャレンジデーの認知度が 18.6%であるのに対し、チャレンジデー参加率が 55%なのはなぜか。	
意見に対する回答	
チャレンジデーの参加率は、個人のほか、団体や企業等からの報告を基に算出しています。 各団体や企業等では、担当者が運動に参加した人数をまとめて報告していることが多く、実際運動に参加している方がチャレンジデーに参加している意識がない場合があります。このため、数値に差が出たものと捉えています。 年齢・性別を問わず、日常的なスポーツの習慣化や住民の健康増進、地域の活性化に向けたきっかけづくりを目的としているチャレンジデーの趣旨を市民にご理解いただき参加いただけるよう、広報活動に努めていきます。	
修正の有無	無

計画の推進体制について	
意見 2 4（要約）	
スポーツ実施状況に関するアンケートを実施してはどうか。（回答者に特典付）	
意見に対する回答	
当該計画案を作成するにあたり、スポーツ実施状況を伺う内容を含んだアンケートを実施しております。 計画を作成するときのみならず、各スポーツイベントの折や他課の関連事業の際など機会をとらえてアンケートを行い、市民のスポーツ実施状況等を確認し、よりニーズに沿った対応に努めるとともに、その結果を公表することで、市民におけるスポーツに関する意識を高めるきっかけとなるよう取り組んでいきます。 また、回答いただいた方への特典に関しても、その都度検討し、対応していきます。	
修正の有無	無

推進体制について	
意見 2 5（要約）	
米沢市スポーツ推進審議会の委員を増員してはどうか。（連携協定企業や団体の担当者等）	
意見に対する回答	
米沢市スポーツ推進審議会は、スポーツ推進全般に関する事項について、教育委員会の諮問に応じ調査審議し、意見を述べていただく機関として条例に基づいて設置されており、委員は、10 名以内、学識経験者及び関係行政機関の職員で組織すると規定されています。 スポーツ振興策を幅広く検討するために、関係する企業や団体等のご意見をお聞きすることも重要であると考えています。 今後委員を委嘱する際に、ご意見の内容も含めて検討するほか、委員を委嘱しなくとも参考人としてご意見をいただくなど、より効果的な関わり方について研究していきます。	
修正の有無	無

施策の進め方について	
意見 26（要約）	
運動・スポーツ実施状況に関するアンケート調査において、「健康長寿日本一のまちづくり」の名前を聞いたことがない64.7%、名前だけは聞いたことがある26.8%。合わせると91.5%の米沢市民が知らないことになる。 また、（１）スポーツのある生活の施策目標の評価で、「生涯スポーツ社会とスポーツを通した健康で心豊かな生活の実現に向けた環境の整備について施策、事業を進めてきました」とあるが、全く理解できない。H30年度（低めの目標値未達成）、R5年度目標値は達成して当たり前の低い目標値である。 推進計画策定のためのアンケートの回数数や会議の開催数が低く感じる。 中川勝市長がよく「健康長寿日本一のまちづくり」を目指すと話していますが、米沢市教育委員会の今回の資料を見る限り、本気度が全く感じられない。	
意見に対する回答	
「健康長寿日本一のまちづくり」の取組は教育委員会のみならず市全体で取り組んでいる事業です。 そこでは施策の柱の一つとしてスポーツ振興を掲げ、健康長寿のまちづくりの実現に向けて優先的に取り組む課題の一つに「一市民一スポーツ」を位置付けています。 元より、スポーツの効果・意義の一つとして捉えていることから、スポーツ推進計画でも健康で心豊かな生活を目指して施策に取り組むこととしていました。 今後目的を含め事業について市民にわかりやすく周知し、健康に関する意識を持っていただき、事業に参画していただけるようこれまで以上に各課との連携を強め、取り組んでいきます。 施策目標を達成できなかったことに関しては、市として目標達成につながる事業を展開してきたものの、目標としていた数値達成には結びついておらず、今後「スポーツのある生活」の実現に向けた更なる取組が必要であると認識しています。 取組内容を精査し、「健康長寿日本一のまちづくり」の取組としても市民に健康や運動に関する意識を持っていただきながら運動を習慣化し、計画作成当初の目標達成を目指して取り組んでいきます。 いただいたご意見を踏まえ、今後本計画に則り事業を推進していきます。	
修正の有無	無